

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市深見南児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター深見南会館管理運営委員会 会長 村上 法芳
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
深見南	118	10,565	346	348	11,377	37	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
新一年生歓迎会(ゲーム、児童館の決まりの話 他)	4/24	10人
5月の制作(クルクルたこさん)	5月	33人
6月の制作(キラキラハートチェア)	6月	39人
七夕のつどい(短冊つけ・安全安心映画会・ゲーム)	7/3	152人
避難訓練・防災訓練	7/16・3/11	25人・15人
記録に挑戦(簡単なゲームを週替わりで用意)	8/1～	36人
じどうかんまつり(スーパーボールすくい他)	9/4	54人
ハロウィンへようこそ(ゲーム・ハロウィンのお話し絵本を見る)	10/30	15人
11月の制作(びよんびよん)	11月	38人
クリスマス会(子供部会共催・デジタル紙芝居)	12/11	188人
児童館の片づけ&おたのしみ会	12/25	6人
1月の制作(干支カレンダー)	1月	29人
2月の制作(星のストラップ)	2月	53人
卓球大会(トーナメント)	3/24	16人
3月の制作(おかしの家)	3月	32人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,370,628
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	139,456
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,510,084
収支決算	3,916		

※収支差額 3,916 円は平成 29 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 児童館利用の人数が 3 年連続で前年を超え、前年度比 104.0%と増加したことは高く評価します。また、児童館の年間利用者が 10,000 人を超える中、利用者アンケートにおいて、スタッフの対応について回答者の 98.0% (前年：100.0%) が「よい」～「ふつう」と回答しており、高水準を維持していることも評価します。 児童の生活指導に力を入れるなど、指導員全員が指導内容の統一を意識し、継続的に利用者向き合うことで、利用者が平等に施設利用できるように努力している点を高く評価します。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。特に近隣中学校の「職業体験」に協力し、地域の青少年健全育成に貢献している点を評価します。 避難訓練・防災訓練では災害時に備えて、児童に非常食を体験させる他、児童に災害時の知識や行動について話をする等、実際の体験を通して心構えを養うといった事業内容については大変評価でき、今後も継続して行われることを期待します。 利用者アンケートにおける、児童館で楽しみにしていることについて「卓球」と回答している割合が 72.0% (全館平均 58.3%) と全館の中で最も高く、卓球利用者が多い中、時間を決めて交代させるなど、トラブルが起こらないように継続的に指導している点を評価します。 事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを望みます。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童に様々な体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 生活指導として、物を大切に扱うことや片付けの習慣をつけるための声掛けをするなど、利用者と共に環境の向上を図っている点を評価します。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。